

編集後記

★ 以前から予定していたカメラの話に戻りたいと思います。カメラとの付き合いは長く、小中学生時代に熱中していた天体観測が高じ、雑誌の特集でもあったのでしょうか、天体望遠鏡とアナログカメラを繋いで月面の写真を深夜に撮影し、自宅で現像したのが始まりでした。それからしばらくの間は医師になるまでご無沙汰となりました。

★ 整形外科医となつてから、カメラやビデオなどの画像処理は整形外科にとっては不可欠な作業であることが明らかとなりました。手術室専属のカメラ技師さんが術野のシーンや検体の肉眼写真を撮影したことが印象に残っています。カメラはニコン社製で、マニュアルでピントを正確に合わせ、ストロボを上手に使って見事に正確なマクロ写真を生み出していました。当然ながら、研修医を終えて関連病院に出ると、早速カメラの購入を計画することになりました。車でもオーディオでも、カタログを眺めながら資金調達や製品の選定をする作業が実際にモノを手に入れる以上に楽しかったりします。色合いなどからキヤノン社製は普段使いにはともかく、赤が鮮烈すぎる印象がありましたし、ニコン社製は描出する画像の正確さでは他に抜きん出ており、プロ向きという雰囲気でした。折しも1985年にミノルタ社が世界初の本格的35mm AF一眼レフとして

a7000を発売し、大ブームになっていました。オートフォーカスなどカメラの時代を画するモデルに魅せられて、多分ボーナスの大半をつぎ込み、接写のできるリングストロボとマクロレンズとともに手に入れたのでした。ところがその後はゴルフや音楽など他の趣味に引きずられ、ご無沙汰となってしまいました。

★ 第3次カメラブームは家内の妊娠とともに訪れ、ビデオカメラとともに今度はキヤノン社製の一眼レフカ

メラを揃えて準備万端となりました。折しも米国へ留学の話が持ち上がり、子どもの誕生とともに留学生生活を記録に残すことが目的となったのです。マミヤ社の中判フィルムカメラにも傾注し、大量の35mmプリントの整理やフィルムスキャンに拘ったことを記憶していますが、デジタルの普及とともにデジカメ、そしてデジタル一眼レフに切り替えました。しかし機器の高額化について行けず、子どもの成長とともに発展著しいスマートフォンのカ

メラを多用するようになっていったのです。

★ ところが以前ご紹介したように、40数年ぶりに犬との生活を再開しました。記念写真を撮るのですが、綺麗だと思っていたタイプの写真が、拡大するとピンボケ・ずれ・色合いなど問題だらけであることが明白になったのです。そこで一眼レフ時代からさらに発展していたミラーレスカメラを入手することにしました（またまた続く?）。

（竹下克志）



Trendelenburg, Friedrich の故郷
Berlin (ドイツ)

生田義和 画
2024-3

顧問	林 浩一郎	石井 良章	中村 孝志	高岡 邦夫	長野 昭
	四宮 謙一	岩本 幸英	星野 雄一	越智 光夫	遠藤 直人
編集	大川 淳	松田 秀一	竹下 克志	安達 伸生	稲葉 裕

臨床雑誌 整形外科 75巻・3号（3月号、第904冊）
編集兼発行者 東京都文京区本郷三丁目42-6
印刷所 東京都江東区亀戸七丁目2-12

2024年3月1日 発行
小 立 健 太
三報社印刷株式会社

発行所 株式会社 南江堂 〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 編集 TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660
https://www.nankodo.co.jp/ 営業 TEL 03-3811-7239

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物の利用に関する著作権者の権利は、（株）南江堂が保有します。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

広告申込所：〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036